

学校名	越谷市立荻島小学校
所在地	越谷市南荻島902番地
電話	048-976-5974

1 本校の概要

児童数 447 名、通常学級 16、特別支援学級 3 の中規模校である。

学校図書館は南校舎 3 階の端に配置され、蔵書数は 10589 冊。学校図書館司書は週 2 回の勤務。貸出し返却はバーコードによるデジタル管理。1 年生より学校図書館は利用可能。利用時間は、昨年度より業間休み、昼休みに変更し、全学年使用可能としている。

また、市立移動図書館「しらこぼと号」が 2 週間に 1 度来校しており、子どもたちの豊かな読書活動に寄与している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・司書教諭、学校司書等を中心とした取組
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

- ・読書に親しみ、児童の学校図書館の利用、本との出会いを増やす取組（通年）

ア 図書委員会を中心とした読書アプローチ

図書委員会では、「荻島小のみんなを本好きにする」をモットーに読書企画に取り組んでいる。

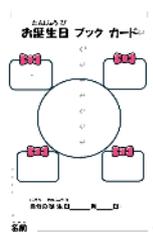
- ・あじさい読書（6 月）

図書室で本を借りると紫陽花の花が貰え、学年ごとに大きな紫陽花の花を作るという企画。



- ・読書月間（11 月）

図書委員の発案により、誕生日の日付と十進分類法の番号と同じ本を借りて読むと、新しい図書利用カードが貰える「お誕生日ブックカード」という企画に取り組んだ。



イ 学校司書による並行読書、授業支援

学年廊下に国語の学習に関係した本をブックトラックに置くことで、誰でも自由に並行読書できる環境を整えている。3 年生の「図書館探偵団」の学習では、学校司書も T2 として参加し、十進分類法について授業支援を行った。実際に学校図書館を探検しながらワークシートを埋めていくことで、児童は楽しく主体的に取り組むことができた。

ウ 図書ボランティアとの連携

図書ボランティアと連携して読みきかせ活動や市内移動図書館の利用支援を行うことで、児童と本との出会いを生むきっかけを意図的に増やした。

3 成果と今後の課題



図名	ないよ！
01	読べないの本 図鑑
1	ものやまの字やひについての本 図鑑
2	むかしのこと たいまつの本 図鑑・地図
3	〃
4	〃
5	空とつぎぎりの本 図鑑
6	〃
7	〃
8	言葉の本 図鑑
9	〃
ひらがな	まはら

(1) 成果

- ・学校図書館の貸出し数は、11 月現在で昨年度と比較して 300 冊程度増加した。
- ・学校図書館司書、司書教諭による授業支援もあり、3 年生以降は十進分類法を用いた授業（ビンゴ等）にもスムーズに取り組むことができた。
- ・図書ボランティアとの連携の強化や、図書委員で工夫した取組を行うことで、児童が本の楽しさに出会う重要な機会となった。

(2) 課題

- ・ICT と学校図書館の差異や学校図書館の長所を再度洗い出し、今後は、より授業内での学校図書館の利用を推進していきたい。

(3) おわりに

今年度は、学校図書館を利用してもらうという視点で実践をしたが、教員間の温度差や ICT の積極的活用も相まって授業内での活用は難しい部分があった。読書活動の充実や学校図書館の活用を進めていくためには、今後もより学校図書館の魅力をアピールする必要があると考える。